

みなとみらい Super Big Band ～5年目に寄せたメッセージ～

5年目を迎えた同バンドへ、それぞれの思いをこめた熱いメッセージをいただきました。

■^{かんの}カルロス菅野 (ラテン・ジャズ・ビッグバンド「熱帯 JAZZ 楽団」リーダー。パーカッション)

結成当初から関わって来たみなとみらい Super Big Band が早いもので5年目に入りました。次世代の音楽を支える若者たちに、生の音楽の素晴らしさを体験してもらおうとコンサートを共にし、日々の練習にもアドバイスをさせてもらっています。

音楽は一人ひとり自分の目標をもって選んだ楽器の鍛錬を重ね、そしてメンバー全員がみんなの目標に向かってコミュニケーションを大切にしながらアンサンブルしていくことがとても重要です。そして上手く演奏できた時の喜びをみんなで分かち合う。この経験は、若者たちが成長していく中で、大切なことを教えてくれると確信しています。みなとみらい Super Big Band は世代を超えてメンバーが集まっています。それぞれが、みんなのことを思いバンドのことを考えて日々素晴らしい成長を見せてくれています。これからの活躍に期待して、また共演を楽しみにしています。

■青木タイセイ (熱帯 JAZZ 楽団メンバー。トロンボーン、他。みなとみらい Super Big Band の結成時から講師を務める。)

みなとみらい Super Big Band 5年目、おめでとうございます。何よりも嬉しいことは、みなとみらい Super Big Band とともにいい音楽を追求し、メンバーを含め多くの方々との音楽の楽しさを共有することができたことです。そして今後、みなとみらい Super Big Band の活動や、熱帯 JAZZ 楽団との共演はもちろん、このバンドを巣立っていったみんなにとっても、音楽が喜びを分かち合える場であってほしいと思います。

■^{ぐいよん}眞理然 (Lowland Jazz リーダー。トランペット。2016年からみなとみらい Super Big Band の講師を務める。)

私がみなとみらい Super Big Band の講師になってから1年半が経ちました。子どもたちもだんだん慣れてきて、音楽のことやバンドとして疑問に思ったことを聞いてくれるようになりとても嬉しいです。みなとみらい Super Big Band は、自分たちで考え、自分たちで進めていくということが当たり前のようにできるバンドになってきました。音楽に真剣に取り組む、私のアドバイスを吸収してゆくその速さには正直驚きを隠せません。「今の良かったよ！」と自然に言葉に出してしまう瞬間がたくさんあります。

ビッグ・バンドは一人一人の役割がとても大切な編成です。このビッグ・バンドを通して、協調性や独創性、社会性も学ぶ場であって欲しいと思っていますし、ここで学んだことは色々な場面で活かせることがあると思っています。卒業してからも遊びに来てくれる先輩たちのように、これからも楽器を続けてまた顔を出してくれると嬉しいです。12月の熱帯 JAZZ 楽団との共演は、中高生にとって難しいことではありますが「お客様の前で演奏する」という意味を考えてもらっています。コンサートでそのことを感じていただけるよう、引き続き全力でアドバイスしていきたいと思っています。

■相澤 互 ^{わたる} (みなとみらい Super Big Band 現リーダー。ピアノ。現在高校3年生)

このバンドの最高の魅力は、なんといってもジャズ好きの仲間たちと一緒に、現役で活躍されているプレイヤーの方から本格的にご指導いただけることです。練習ではジャズ独特の表現や、アドリブ・ソロの取り方などの技術的なことだけではなく、ジャズを楽しみながら演奏することを教えていただいています。

2年前の熱帯 JAZZ 楽団との共演では、プロの方々の一つ一つの音の力強さ、グルーブの迫力を間近に感じ、素晴らしい体験をすることができました。また、良い演奏が人を感動させ、それが一体感を生み出すということがとても新鮮でした。今年12月の共演でも一体感を感じられるような良い演奏をしたいと思います。そしてまた今回はどんな新しい経験が出来るのか、とてもワクワクしています。

練習ではなかなかうまく行かないこともあって、大変なことも多いのですが、メンバー皆で演奏することを楽しみながら、上達していけたらと思っています。これからも応援、よろしくお願いします。

■吉野 堇 ^{すみれ} (みなとみらい Super Big Band 第1期生。トランペット。現在大学2年生)

みなとみらい Super Big Band 結成5年目、誠におめでとうございます。

私は高校入学と同時に上京し、中学で始めたジャズを高校でも続けたいと考え、みなとみらい Super Big Band に参加しました。ジャズを知っている友達さえいなかった当時の私にとって、学校では出会えない心から音楽が好きな同世代に出会える場所を見つけられたことが何より嬉しかったのを覚えています。

みなとみらい Super Big Band には、一般的なアンサンブル練習だけでなくコンボ編成やアドリブを勉強できたり、プロの指導を直接受けられたりと、貴重で恵まれた環境があります。このことは、私が「音大進学」という進路を決定するに至ったほど良い経験となりました。

ジャズを専門的に勉強する身となった今、ジャズには仲間や聴き手と感情をその場で共有できるコミュニケーションツールのような一面がある、と私は感じています。恵まれた環境でみなとみらい Super Big Band の仲間と切磋琢磨して音楽を創った経験を糧に、喜怒哀楽を表現できるプレイヤーになりたいと思います。

以上